



ICDAホールディングス

(証券コード3184 東証二部・名証二部)

2014年 7月

名証IRエキスポ2014 会社説明会資料

ICDAホールディングス株式会社



企業概要・沿革

社名

ICDAホールディングス株式会社
(International Conglomerate of Distribution for Automobile)

設立

2009年10月1日

本社

三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表者

代表取締役社長 向井弘光

資本金

1,161百万円

発行済株式総数

2,099,969株(自己株式31株を除く)

事業内容

自動車販売関連事業
自動車リサイクル事業

売上高

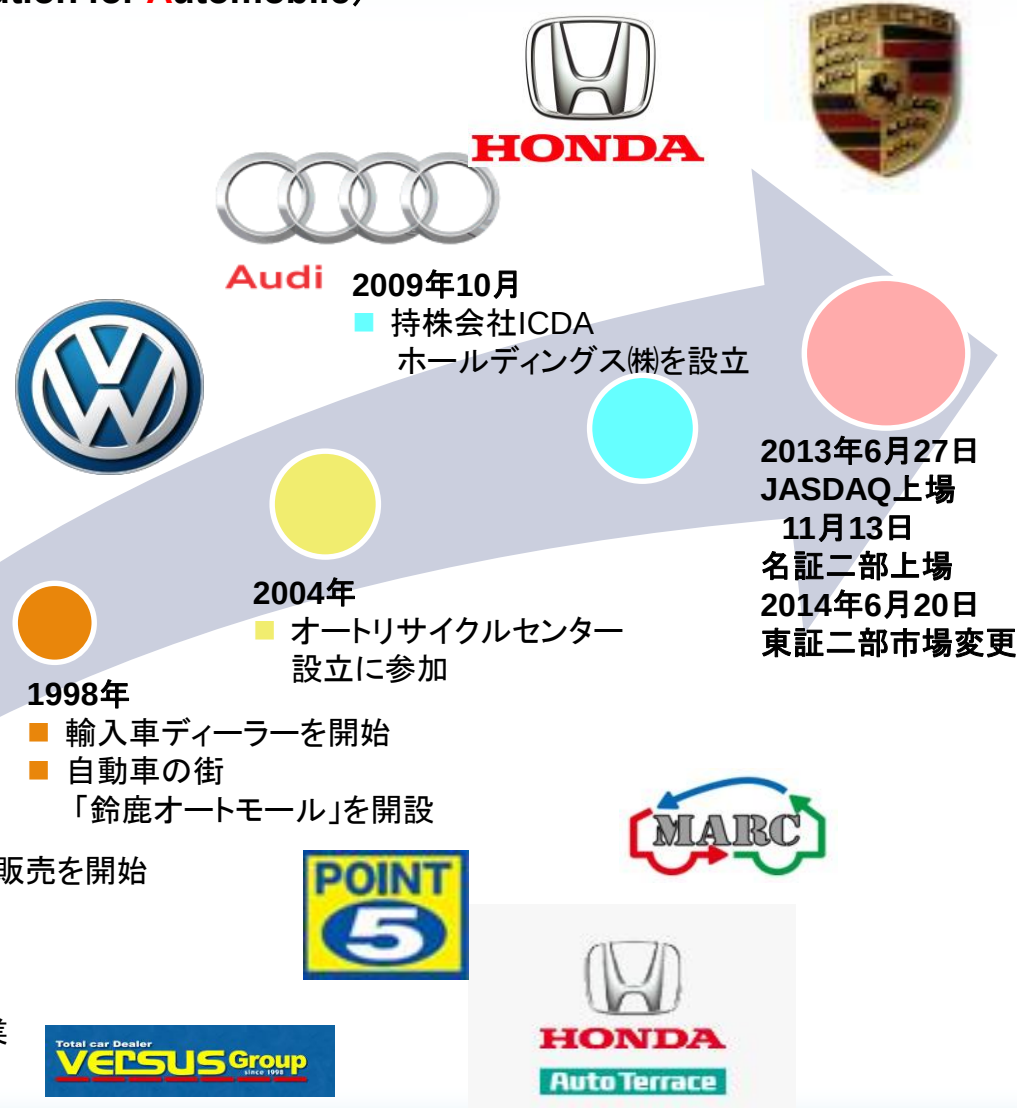
26,780百万円(連結)
(2014年3月期)

経常利益

996百万円(連結)
(2014年3月期)

従業員数

357名(連結)
(2014年3月期)



代表取締役社長 向井 弘光の経歴



- 昭和18年 三重県熊野市に生まれる
- 昭和35年～ 名古屋で働きながら、バイクレースに参加するために鈴鹿サーキットへ
- 昭和42年5月 向井自動車商会(現株オートモール)創業 代表
- 昭和47年9月 向井自動車販売(有)(現株オートモール)設立 代表取締役
- 昭和52年12月 向井自動車販売(株)(現株ホンダ四輪販売三重北) 設立 代表取締役
- 昭和53年9月 (株)ホンダベルノ三重北 代表取締役
- 平成13年10月 (株)オートモール 代表取締役会長兼社長(現任)
- 平成19年6月 (株)ホンダ四輪販売三重北 代表取締役会長(現任)
- 平成21年4月 (株)マーク・コーポレーション 代表取締役社長(現任)
- 平成21年10月 ICDAホールディングス株式会社設立 代表取締役社長(現任)

2輪レースに参加するため鈴鹿サーキットに通い、レース用のバイクは自作でメンテナンスも手掛けた。





ICDAホールディングス

(株)ホンダ四輪販売 三重北

- 新車販売(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)

自動車販売関連事業

(株)オートモール

- 新車販売
(ポルシェ・Audi・VW正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)

(株)マーク・コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

自動車リサイクル事業

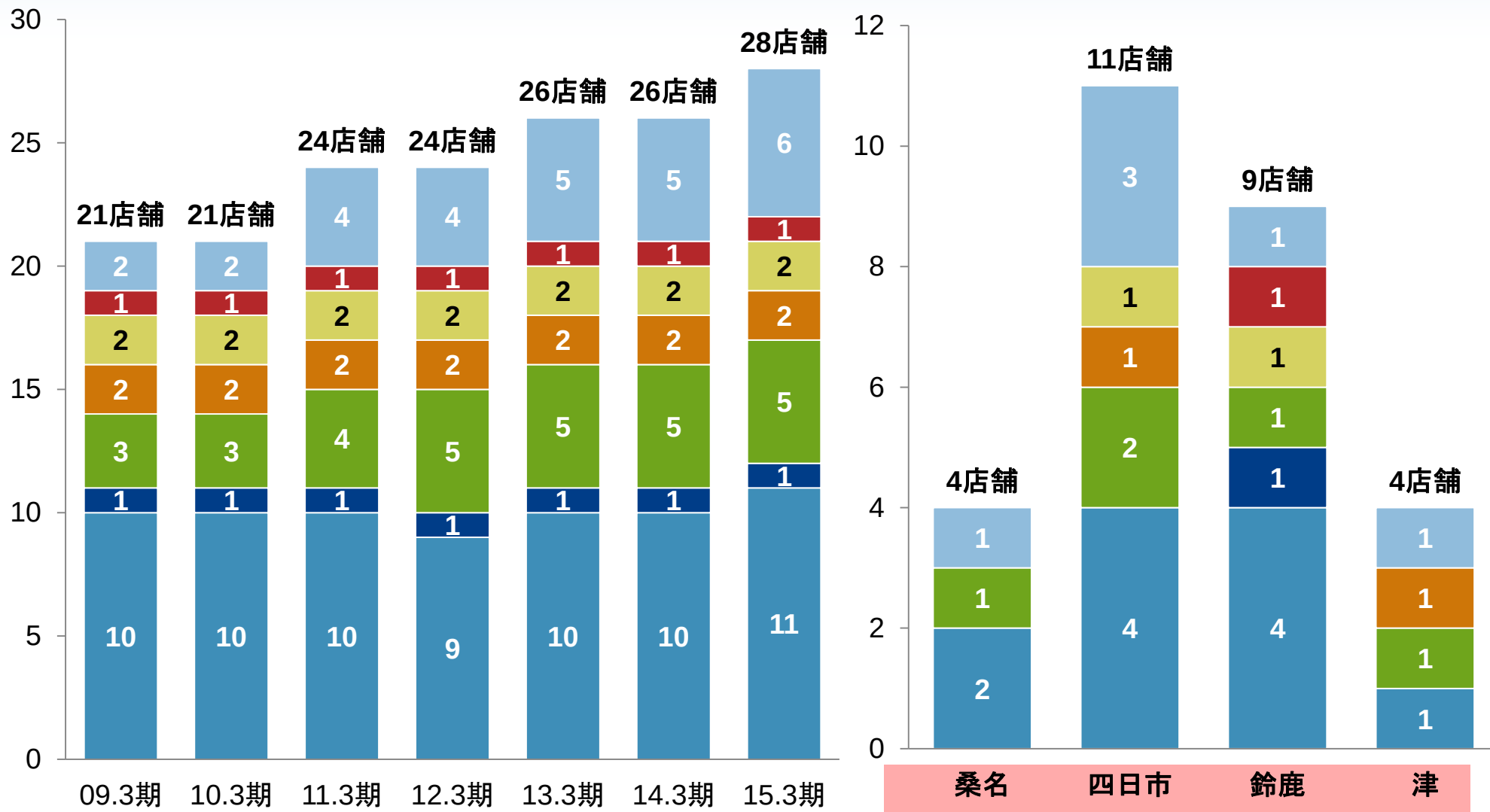
■ 様々な価格帯の自動車に対応することで、幅広い顧客層を獲得

★ はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向が多い広領域ユーザー	
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	中
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車を中心	
			低

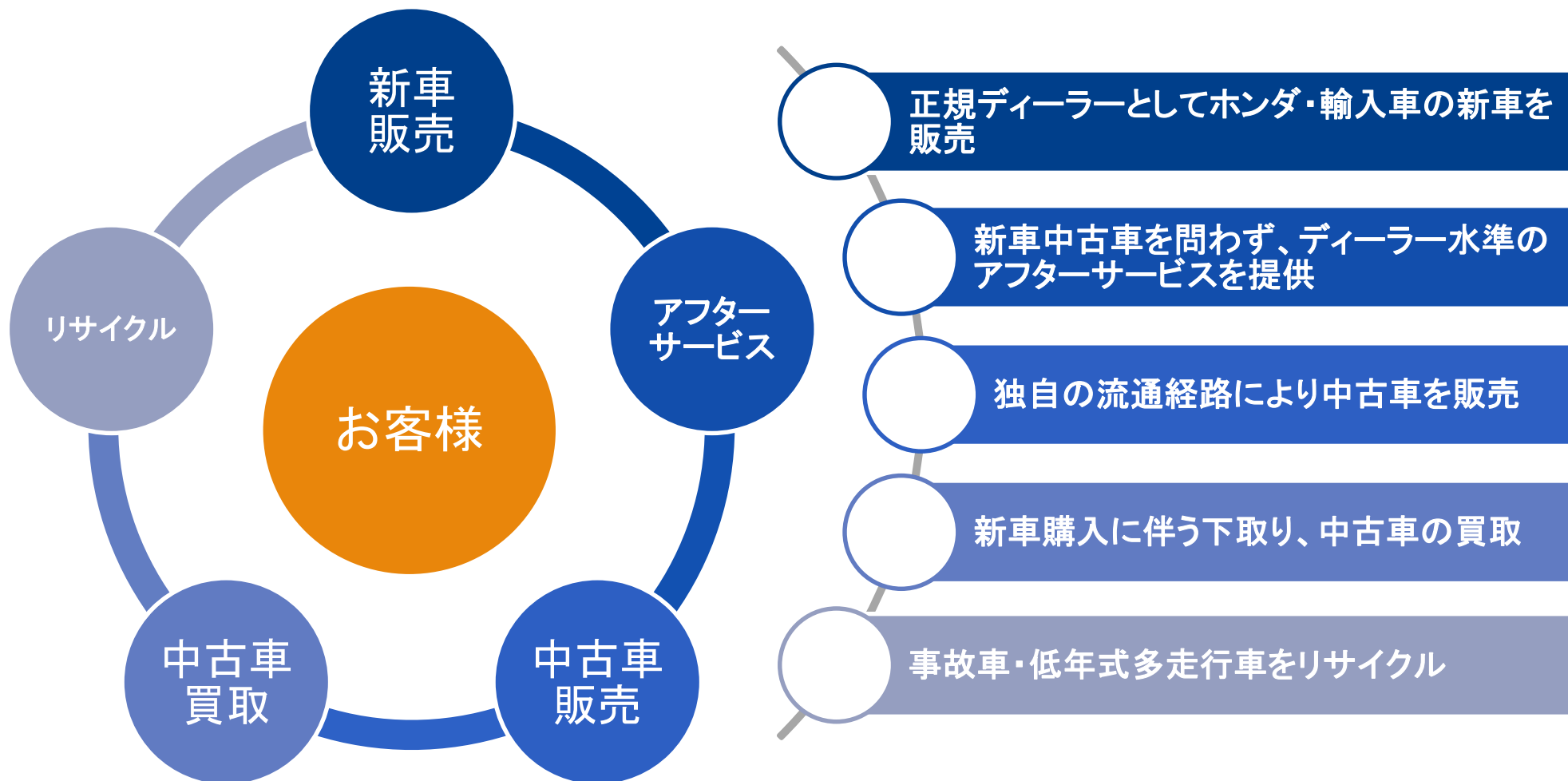
出店状況(2014年6月末現在)

POINT⑤ ポルシェ VW Audi ヴァーサス オートテラス ホンダカーズ



バリューチェーンビジネスについて

■ 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

①収益機会の増加

②独自の中古車流通

③リユースパーツの活用

④店舗開発ノウハウ

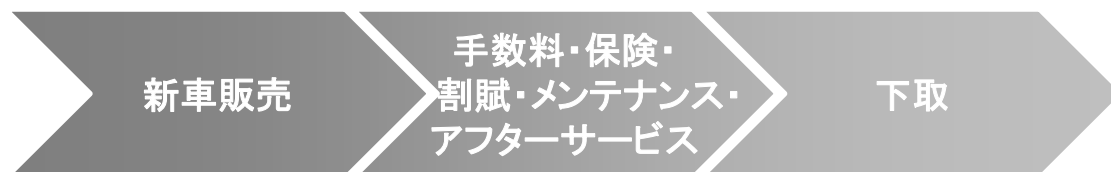
①収益機会の増加

- 自社グループにて中古車買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車が流通する際の収益機会が増加

ICDAのバリューチェーンビジネス



新車ディーラーにおける一般的なバリューチェーンビジネス



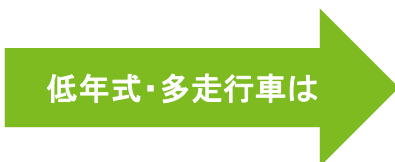
②独自の中古車流通（グループ内流通でバリューを追求）

車の種類・状態等に合わせて、グループ内で効率良く流通

POINT⑤とMARCがあるから
どんな車も買取や下取りが可能



中古車の確保・販売に有利！



③リユースパーツの活用(顧客満足度の向上)

品質の高いリユースパーツを提案 ⇒ **低コストでの修理が可能となり 顧客満足度が向上**



④店舗開発ノウハウ

- 複数のブランドを組み合わせることでマーケットに合わせた店舗設計が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することでターゲット層が拡大し、集客力が向上

1. 複合型店舗

- 新車ディーラーを核とした多数複合店舗
- 敷地面積10,000m²以上

2. 小規模併設 店舗

- POINT⑤との併設による複合店舗
- 低コストでの出店が可能

3. 隣接型店舗

- 商業施設に隣接した土地への出店
- 商業施設との共同開発による出店

④-1 複合型店舗(四日市あかつき台、桑名陽だまりの丘) ICDAホールディングス

- 自社グループのブランドを複数組み合わせることで、新車(ホンダ車・輸入車)・中古車の販売とメンテナンス等のサービスが同時に可能
- 富裕層から若年層までの広いターゲット

ホンダカーズ三重北四日市あかつき台店、ヴァーサス四日市東インター店
アウディ三重四日市、フォルクスワーゲン四日市



④-2 小規模併設店舗(桑名大桑通、四日市松本)

- 買取強化ブランドであるPOINT⑤を組み合わせることで出店することにより、比較的価格帯に対するニーズを持つユーザーの集客に繋がる
- 小規模な店舗にて、少ない人数での効率的なオペレーションが可能

POINT⑤桑名、ホンダカーズ三重北桑名大桑通店



POINT⑤四日市松本、ホンダカーズ三重北四日市松本店



④-3 隣接型店舗(鈴鹿道伯)

- 商業施設に隣接していることで集客力が向上
- 自社グループの中から、商業施設に来店するファミリー層(資産形成層～富裕層)に対応したブランドを出店

ホンダカーズ三重北鈴鹿道伯店、POINT⑤鈴鹿店、フォルクスワーゲン鈴鹿



自動車リサイクル事業について



車両引取り

- ・輸送会社と提携
- ・早期の集荷作業



車両保管ヤード

- ・800台の平置きが可能な敷地
- ・重ね置きしない丁寧な保管



前処理棟

- ・リサイクル法を遵守した作業
- ・フロンガス回収・エアバック車上破壊



液抜き棟

- ・燃料・オイル類・ラジエーター液の回収



反転機

- ・エンジン・足廻り部品の取り外し



ライン作業場

- ・1台の車両に対し2名で作業
- ・丁寧な「手バラシ」解体



EPリフト作業場

- ・中古部品生産の専用リフト
- ・質の高い商品を生産



300トンのプレス

- ・スクラップボディのプレス
- ・70cm×70cm×70cmの形にプレス



プレス出荷

- ・鉄鋼メーカーに出荷



国内行き中古部品

- ・1万点の在庫保管スペース
- ・バーコード管理された在庫

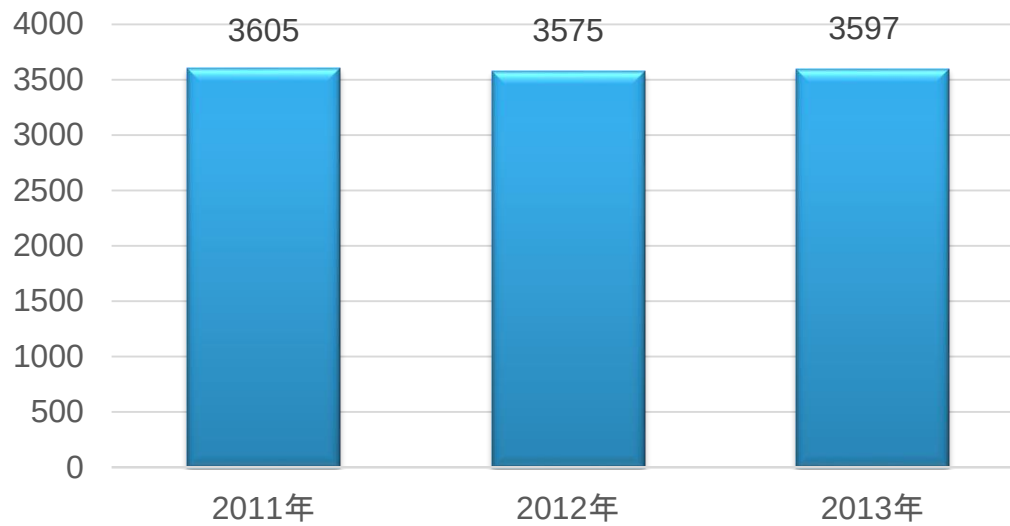
レアアース磁石回収システムの技術開発
「独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO助成事業)



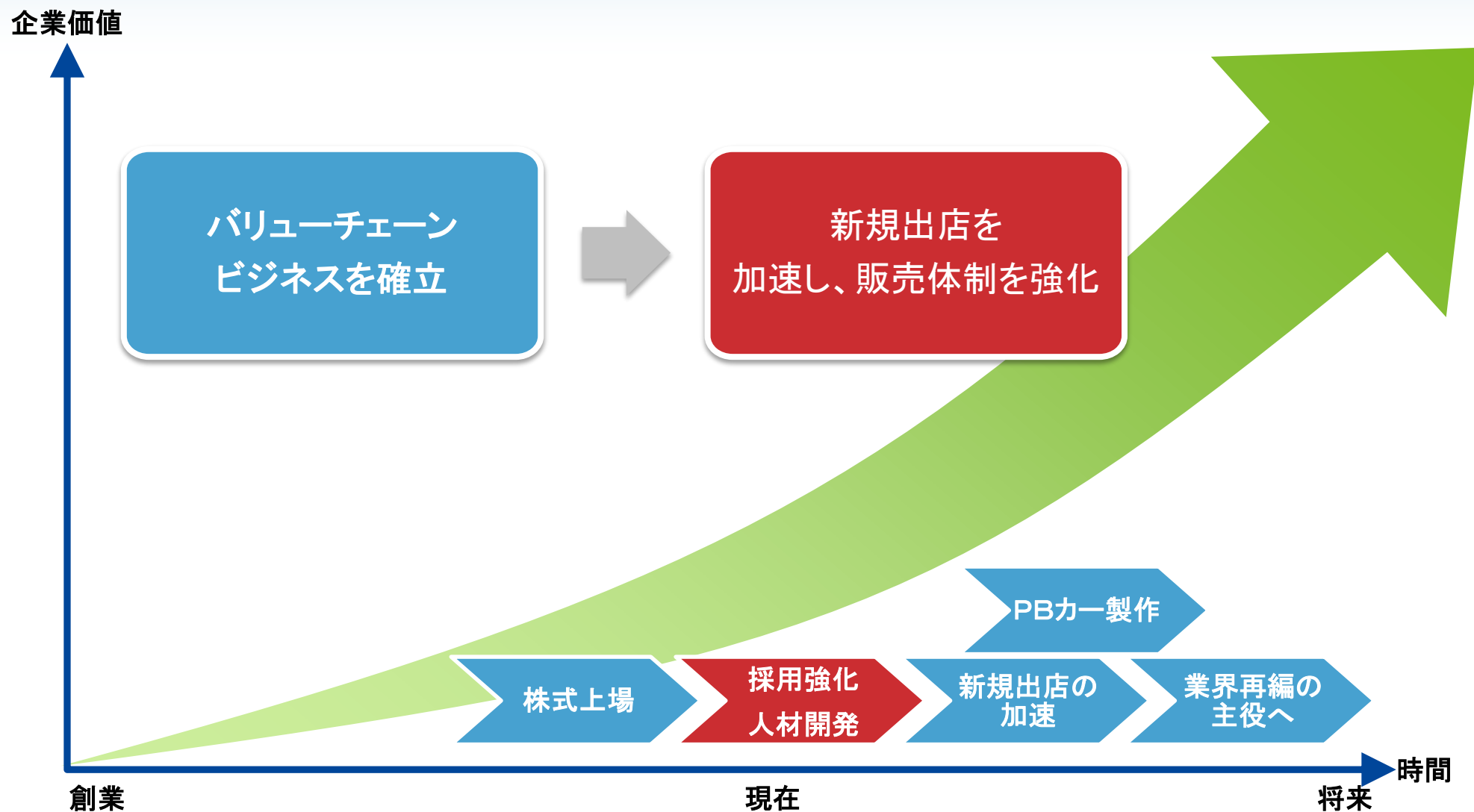
鈴鹿オートリサイクルセンター内に自動車リサイクル館や教室を併設

年間3,000名を超える見学者を迎えて環境問題に関する啓蒙活動を実施

見学者の推移(人)



中期の戦略と経営方針



地域経済 11版

2014年(平成26年)7月2日(水曜日)

中

三

新

自動車整備に女子力

追跡
人手不足

自動車の販売店で、車検や修理を担う国家資格の自動車整備士のなり手が減っている。若者の車離れが進み、養成する専門学校の入学希望者も十年間で半減。ハイブリッド車(HV)などエコカーの普及で高度な知識を持つ整備士の需要が増える中の人手不足は深刻な課題。獲得に必死の販売店は、女性整備士の採用に活路を見いだすなど模索に乗り出した。(池内琢)

つなぎ姿の小柄な女性が、ボルトを手際よく締めつけていく。「ホンダカーズ三重北鈴鹿道伯店」(三重県鈴鹿市)で働く喜多千代美さん(三三)は、自動車販売店グループ「ICDAホールディングス」(同)が初めて採用した女性整備士だ。入社四年目で、毎月二百台の車検をこなす。子どものころからスポーツカーが好きで、整備士の道を選んだ。後輩の指導も担い職場リーダーとして忙しい。

「少ない応募の中から、良い整備士を採用する必要がある。女性は重要な選択

肢だった」と同社副社長の向井俊樹さん(四三)。車を修理し、安全を保証する整備士の確保は車販売業にとって死活問題。力仕事だが、喜多さんは道具を駆使し、仕事の改善にも取り組む。向井副社長は「整備士の人手不足はこれからも続く。女性を積極的に採用していく」。同グループは既に来年入社採用で二人目の女性整備士を内定した。



人手不足の自動車整備業界で働く喜多千代美さん＝三重県鈴鹿市で

掲載日 中日新聞朝刊 平成26年(2014年)7月2日11ページ
中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

伊勢

新聞

産経

新聞

平成23年(2011年)12月22日

木曜日

(6)

2011年12月に、電気自動車【コンバートEV】の試乗会を三重県庁で実施



2014/06/17

改造電気自動車を披露
 県庁で 鈴木知事も試乗
 自動車リサイクル業「マーク・コーポレーション」(鈴鹿市伊船町、向井弘光社長)は二十一日、県庁駐車場で市販車を改造した電気自動車「コンバートEV」の試乗会を開き、鈴木英敬知事が乗り込んだ。県の「成長分野関連製品等試作補助金事業」に選定されて製作した。充電能力に優れたリチウム電池を搭載し、

電気自動車は充電池が高く、少量生産のため高価だが、既存車を改造するコンバートEVは価格を低く抑えらるることに同社は注目。今回は鉛電池を使ったが、来年から充電能力に優れたリチウム電池が回り、事故車などでリチウム電池の回収を見込み、二年後の商品化を目指すという。

電気自動車は充電池が高く、少量生産のため高価だが、既存車を改造するコンバートEVは価格を低く抑えらるることに同社は注目。今回は鉛電池を使ったが、来年から充電能力に優れたリチウム電池が回り、事故車などでリチウム電池の回収を見込み、二年後の商品化を目指すという。

鈴木知事は「一回使ったバッテリーを無駄にしないのはいい。県として支援していきたい」と激励。同社の越智史朗取締役は、「ハイブリッド車を買換えた時などにリチウム電池が手に入る。充電能力と登坂能力が課題」と商品化に向けた意気込みを語った。



コンバートEVに乗る鈴木知事＝県庁駐車場で

掲載日 伊勢新聞朝刊 平成23年(2011年)12月22日 6ページ
 伊勢新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

今後、地元(鈴鹿市)試作車企業・鈴鹿リサイクルセンター・ICDAグループ中古車事業部が協力し、2016年秋を目標に、自主企画車を製作・発表

八野モータープール(三重県鈴鹿市)が平成26年3月に完成
(約20,000坪)

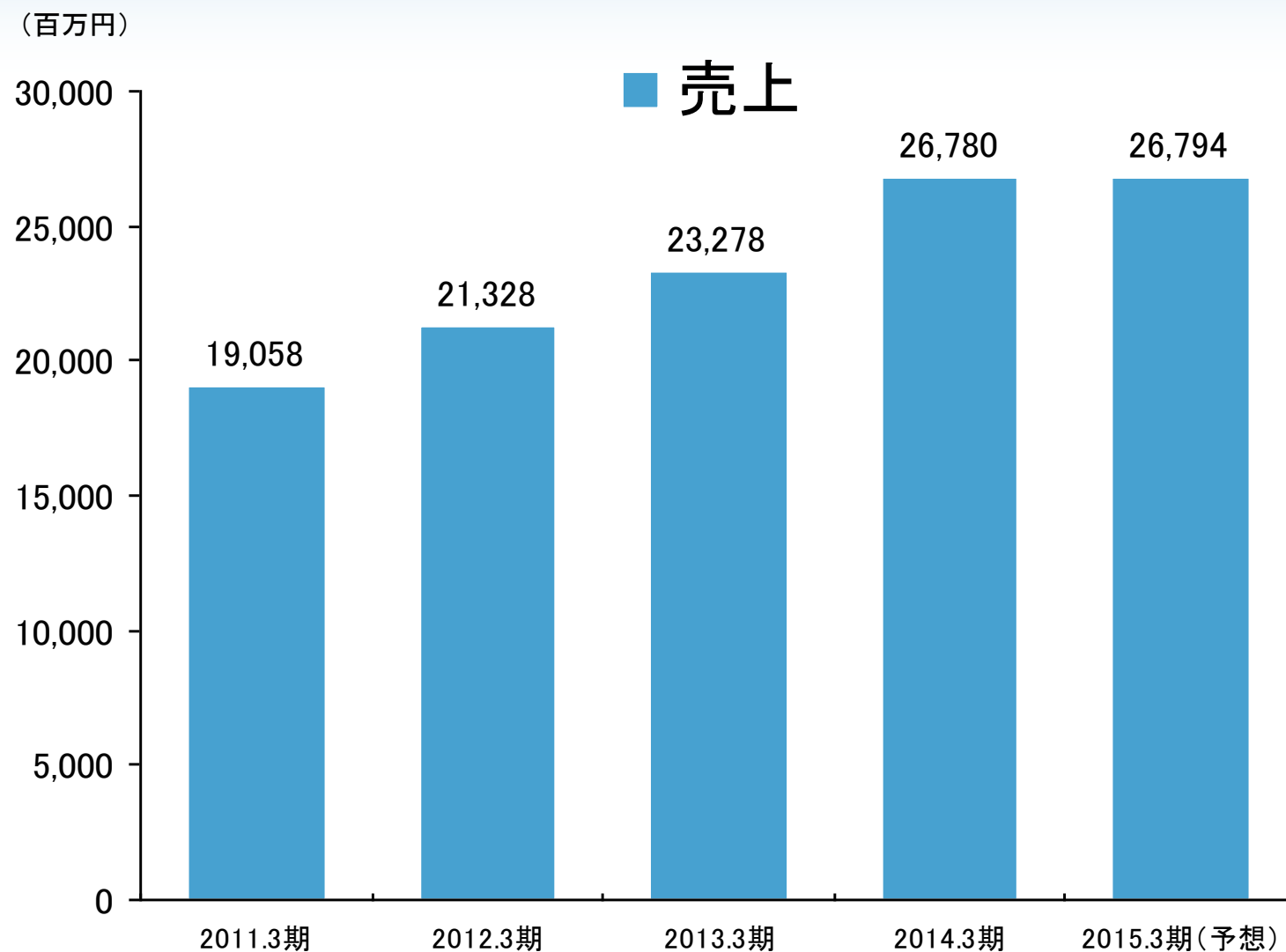
【今後の活用方法】

PBカー(自主企画カスタマイズカー)製作工場
グループ新車・中古車デポックスセンター

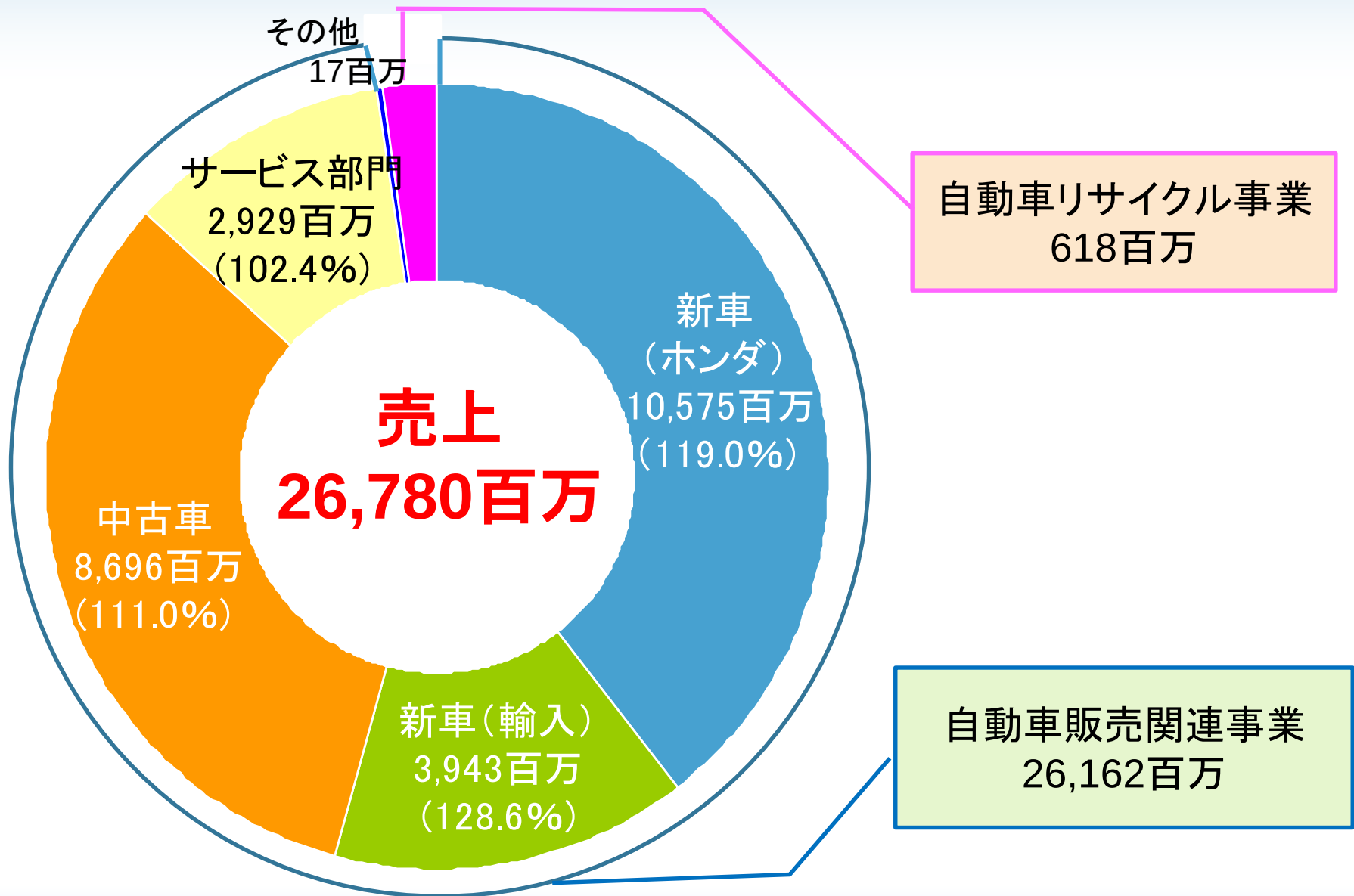


業績と株主還元について

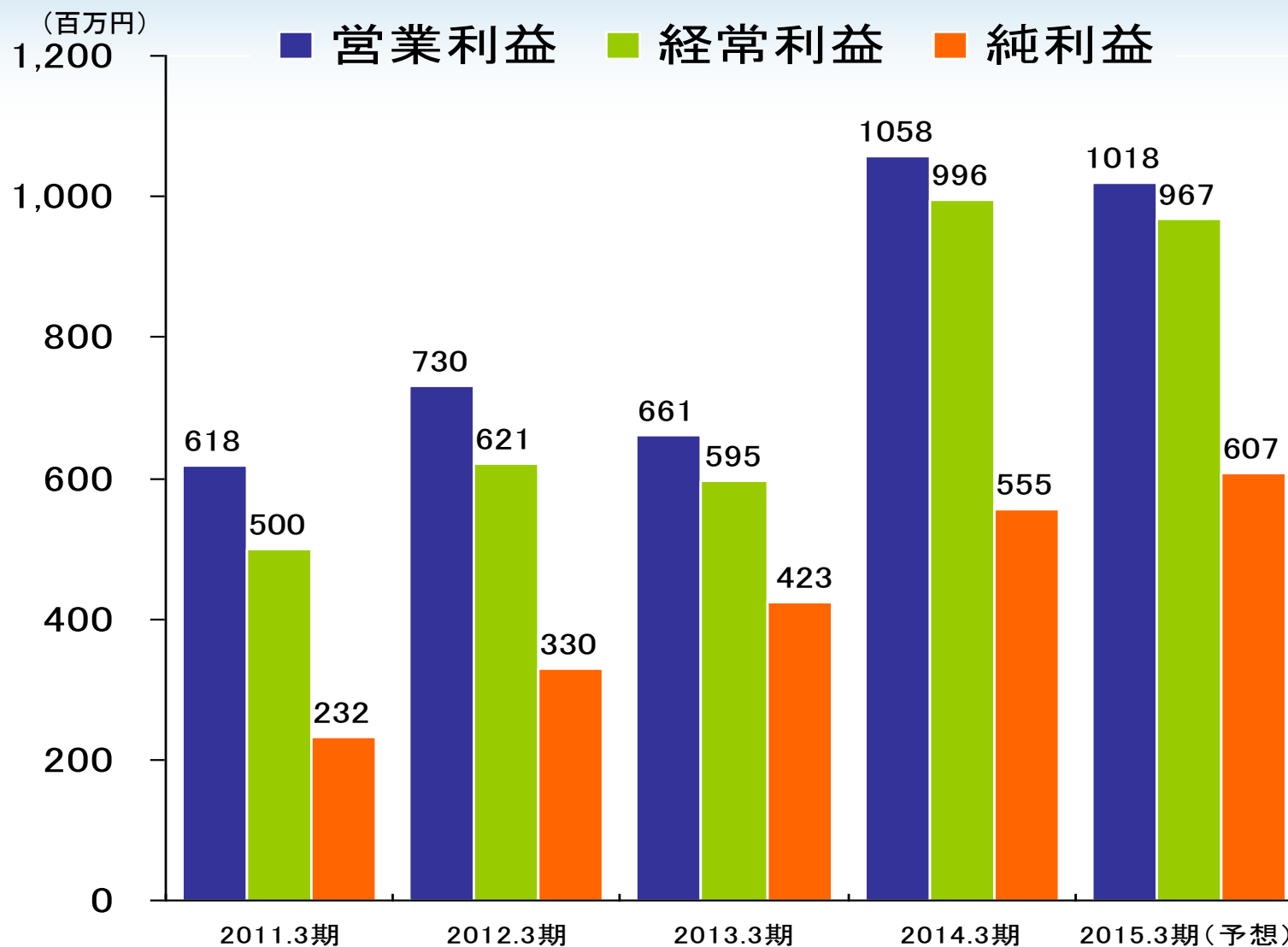
業績推移と今期予想(売上高)



売上セグメント構成(2014.3期)



業績推移と今期予想(営業利益・経常利益・純利益)



※ 2013.3期は退職給付債務の積み増し分として
300百万円を計上しています。

貸借対照表(2014.3期)

単位: 百万円

資産		負債・資本	
現金及び預金	1,364	流動負債	6,962
商品及び製品	2,477	固定負債	3,387
		負債合計	10,349
流動資産合計	4,530	資本金	1,161
有形固定資産	8,703	資本剰余金	1,148
無形固定資産	70	利益剰余金	1,406
固定資産合計	9,584	株主資本合計	3,716
資産合計	14,115	純資産合計	3,765
		負債純資産合計	14,115

店舗開発費用(土地及び建設費)を銀行借入でまかなってきたため負債比率は高い

【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

2015年3月期 配当金予想

	配当性向	1株当たり配当金
2013.3期	39.1% (連結当期純利益の21.3%)	50円
2014.3期	84.6% (連結当期純利益の18.3%)	50円
2015.3期(予想)	76.3% (連結当期純利益の17.3%)	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。



この度、当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.8Km)を使用いたしまして、先導車兩付きマイカーランを企画致しました。

当社グループ取扱車種もご用意しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。

数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。

是非、この機会に、ふるってご参加ください。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2014年6月25日(水) 13:30～(受付13:00～)

【集合場所】 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース センターハウス

【会費】 無料

【スケジュール】

受付時間 13:00 センターハウス2F

フリーイング 13:30 センターハウス2F/走行に関する事前説明会

走行時間 14:00～

【申込方法】

本用紙の裏面に記載の注意事項、誓約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さいませ。ご記入頂いたご連絡先電話番号に当社よりご連絡致します。

【お申し込み先】: ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX/059-384-2881

【お申込期限】 2014年6月23日(月) 18:00 まで

【問い合わせ】

申込に関するお問い合わせ先

ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL:059-381-5540

抽選で
40
名様に



最後に、本年の株主総会後に実施した、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.8km)を使用した、マイカーランの模様をご覧ください。

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 管理部総務課
TEL: (059) - 381 - 5540